

2014年2月20日

島根県知事
溝口 善兵衛 殿

**『島根エネルギー自立地域推進基本条例』に係る
再生可能エネルギー「3.6kWh(2.6%)」値
および「3年後の5%」値について
(質問書)**

島根県議会に、住民直接請求制度に基づく標記条例案が付議され、審議が始まっていますが、審議の出発点となるべき客観的事実、特に再生可能エネルギー関係の数値等が明確にされる必要があります。このことについて議員と県民とを含めた共通認識を築くために、下記の質問を致します。ご回答を宜しくお願い致します。

1. 現状(知事意見の「3.6億kWh(2.6%)」)について

1) まず、「kWh」は電力を示す単位であり、誤解を与える指標である。さらに、火力や原子力は熱エネルギーを電力に転換することから熱エネルギーである。したがって、エネルギー全体を示す単位は、熱量(ジュール)を用いるべきである。このことは、国内はもとより国際常識であることから、速やかに指標を差し替えるべきである。

2) 条例案に附せられた「知事としての意見」の再生可能エネルギー「3.6億kWh(2.6%)」の具体的内訳を示してほしい。どのエネルギーを、どのように積み上げたのか。太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、水力発電、熱供給などに分けて、発電設備容量、設備利用率、発電量、熱供給量を示すこと。その際、各施設名を明示すること。

3) 「3.6億kWh」には、全ての水力発電が含まれていないと推測できるが、水力発電は再生可能エネルギーではないのか。水力発電を全て含めると、現状の再生可能エネルギーの供給量はいくらになるのか示してほしい。そして、小・中・大の各々の発電の県内における件数、出力、稼働率計算・実績などの詳細を示してほしい。

4) 条例案に附せられた「知事としての意見」には「自立を目指すとするれば、現在の約40倍の再生可能エネルギーの生産が必要」とあるが、その時点における総エネルギー消費量、および県人口、県経済規模はどのように計算されてのことか。

2. 19日議会における知事答弁の「3年後5%」について

1) 19日答弁の「3年後5%」では、「3.6億kWh(2.6%)」に何を、何TJプラスしたのか。対象とした再生可能エネルギーを電源別に、発電設備容量、設備利用率、発電量、熱源別に、熱供給量を示してほしい。

2) 19日答弁の「3年後5%」では、3年後とは平成29年であるのか。その時点の総エネルギー消費量は何TJ(熱量換算)と想定しているか。

3) 「3年後5%」には、すでに発表されている大規模風力発電やメガソーラー、バイオマス発電の建設計画が含まれていると考えられるが、これらのおお半は県外の資本が進出するものである。売り上げ(収入ないしは所得)は県外に流出するだけで、県内経済への波及効果が乏しいと考えられるが、これらの事業の県内への経済効果(雇用、所得など)をどのように見積もっているのか示してほしい。

4) 全国では、市民・地域共同発電所が次々と生まれているが、県内にはいまだにひとつもない。地元への経済効果が大きな市民・地域共同発電所の設置を県として進める計画はないのか。また、地域住民や地元企業との協働を進める予定はないのか。

3. 新たなエネルギー計画

1) 「新たな計画を策定する準備を進めている」との知事答弁があったが、その計画の目標年度はどのように考えているのか。また、導入量などに関する現在の合意点はどのようになっているのか。

2) 新エネルギー計画と合わせて、省エネルギー計画を策定するつもりがあるのか。例えば、長野県の「環境エネルギー戦略」のような需要と供給の双方を含む統合的な計画をつくる予定はあるか。この策定作業は庁内の検討チームとのことだが、いつ設立したものなのか。外部者を入れた公開の審議会で検討する予定はないのか。また、計画策定予定は何時か。

3) 再生可能エネルギーや省エネルギーは地域経済への波及効果が大きいと考えられるが、豊かな島根を実現するためにも、経済分析やその他のメリットとデメリットを含む副次効果を検討する必要がある。このような分析や試算を行う予定はあるのか。

4) 併せて、島根原発が稼働・稼働した場合の経済分析、および過酷事故による様々な損失や被害を示す必要がある。一般論として、原発は地域経済へ効果があると言われるが、一方、いくつかの研究では、原発は地域経済への波及効果が乏しいと指摘されており、中長期の観点で見るとデメリットの方が大きいのではないかと意見もある。県民合意の形成のためには、島根原発の過去の実績と、今後稼働する場合の効果、および原発の様々

なコストなどのデメリットも全て示す必要があるのではないか。

以上

「島根県エネルギー自立地域推進基本条例」制定請求代表者

北川 泉

高橋 泰子

多賀 礼子

中村 榮治